

今月の.....きらり人.....

原淑子（はらしゆくこさん）



私は、新富町上富田生まれです。昭和6年生まれ  
の羊年、今年は何女です。家は一ツ瀬川河口  
の近く。遠浅の河口は、よくシジミが採れてね。  
妻あたりから講中のレクリエーションを兼ね  
て、川舟で中州に渡って、シジミ狩りを楽しん  
でおられました。でも、あの当時は、大雨や台  
風の度に洪水の連続！私の家もあわや床上浸水  
というところまで心配したことがありました。  
水が出る前に、螻蛄（ケラ）が地上に出てくる  
んですよ。そして、瞬く間に道路が冠水して、  
下駄やらが流れ始めるのです。その後、ダム等

が出来て水害はなくなりましたが、シジミや鮎などは減りましたね。私の青春時代  
ですか？楽しむ余裕なんか全く無かったですよ。18歳で宮崎市の女学校を卒業す  
ると同時に、子供のいない親戚の家の養女となったのです。私は、9人兄弟の3番  
目でしたからね。そしたら、すぐに近所の人と結婚の話が出来ていたんです。恋愛  
も何もあったものではありません。結婚すると、初めての農作業が待っていました。  
昔は、今のように機械化されていませんから、何から何まで手作業です。稲を刈る  
にも、一株、一株、鎌で刈り取り、稲架に架けて干していく。最初はどうも稲を束  
ねる藁縛りができなくて・・・泣き泣きの毎日でした。でもね、30歳を過ぎて  
製材所に勤めたあと、志田組や穴吹工務店の仕事に就きました。先日亡くなられた  
佐藤棟梁さんのシーガイアやホテル、動物園、そして綾の酒泉の杜など、当時の著  
名な建築物には、全て関わりました。そのお蔭で、日本中行かないところはないほ  
ど職員旅行で楽しませていただきました。沖縄は2回も行きましたよ。あの頃は建  
設会社も勢いがありましたねえ。元々身体は、短距離ではいつも1位か2位という  
ほど、運動神経は優れていたのです。それが、72歳のときJAの精米所で事故に  
会い、大腿部を骨折し、歩行に障害を生じるようになりました。今、ここに入所し  
て嫁ぎ先の祖母が認知症で近所を徘徊して大変苦労したことを思い出しています。  
介護を社会全体で見る時代になって、介護する家族の負担もストレスも減少したと  
思います。人生は、楽しむことが大切です



シルバーコート新町 広報

# さくらの実 No. 2

シルバーコート新町

訪問介護ステーション なのはな  
デイサービス さくらスクール







恒光さん手作りのストラックアウト  
大盛り上がりでした。



■ Aさんのシルバーカーにはナナちゃんとワンちゃんがいつもきちんに乗っている。Aさんお気に入りの話し相手である。ある朝、介護士のHさんがダッコ紐で背負わせていたが、どうしても大きなおなかにつかえて紐が結べない。HさんがAさんに「またおなかに赤ちゃんが生まれたのじゃない？」と声をかけると「ほんとにね。この歳になって恥ずかしいわ！」との返答に朝ごはんの終わったテイルームは爆笑の連続。

■ 朝ごはんを済ませたNさんは、廊下を真っ直ぐに歩きながら織田信長が本能寺で吟じたという「人生五十年、下天の内を比ぶれば夢幻の如くなり。」を朗々と謳う。その姿はシルバーコート新町の信長だ。

■ 6月8日デイサービスさくらスクールで「初鯉解体ショー」行われた。大きさ9・6キロの青島獲れの鯉を調理師免許を持つ菅原主任と濱砂介護士が裁き、タタキにして

その日の利用者37名が、目に青葉山時鳥初鯉の旬の味を楽しんだ。解体前にHさんの演じるパフォーマンスの“お祓鬼神太鼓”があり、楽しんだり笑ったり。

「こんな行事が時々あるとデイに来るのが楽しみ」になるとの声が聞かれた。



■ 「シルバーコート新町ファームなのはな」によろしく、から芋の植えつけ終了！！品種は、黄金千貫・安納芋・鳴門金時など。秋祭りには、売り切れ御免の焼き芋として登場する。お楽しみに。農場長は、深美顧問。

